

貸借対照表

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日

(当期会計期間)

東和観光開発株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金	△92,970	未払金 1	5,943,956
当座預金	△519,140	未払金 2	621,537
普通預金	△808,577	短期借入金	80,845,031
売掛金	4,244,432	リース債務(流動)	521,040
商材	△273,178	未払費用	1,469,256
原材	1,802,404	未払消費税	△8,619,935
貯蔵品 1	△2,135,282	前受金	△83,815
貯蔵品 3	△1,627	預り金	△2,355,111
前払費用	△228,344	賞与引当金	△3,558,194
未収入金	△96,550	流動負債合計	74,783,765
滞在未収入金	279,495	【固定負債】	
立替金 1	△1,292,238	リース債務(固定)	288,544
立替金 3	232,397	退職引当金	940,000
流動資産合計	1,110,822	固定負債合計	1,228,544
【固定資産】		負債合計	76,012,309
(有形固定資産)			
器具備品	6,326,800		
リース資産(有形)	3,796,800		
減価償却累計額	△14,368,417	純資産の部	
有形固定資産合計	△4,244,817	科 目	金 額
固定資産合計	△4,244,817	【株主資本】	
		【利益剰余金】	
		(その他利益剰余金)(△79,146,304)
		繰越利益剰余金	△79,146,304
		利益剰余金合計	△79,146,304
		株主資本合計	△79,146,304
		純資産合計	△79,146,304
資 産 合 計	△3,133,995	負債純資産合計	△3,133,995

(4) 注記表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 棚卸資産は、原価法によって評価している。
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産の減価償却の方法は、定額法によっている。
 - (2) 無形固定資産の減価償却の方法は、定額法によっている。
3. 重要な引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上している。
 - (2) 退職給付引当金は、従業員に対する自己都合退職による期末要支給額の100%を計上している。
 - (3) 貸倒引当金は、売上債権、貸付金等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
4. その他
 - (1) 消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

【貸借対照表に関する注記】

関係会社に対する短期金銭債権	72	千円
関係会社に対する短期金銭債務	413,234	千円
関係会社に対する長期金銭債務	591,000	千円

【損益計算書に関する注記】

売上高のうち関係会社に対する部分	22,374	千円
売上原価・一般管理費のうち関係会社からの仕入高	0	千円
関係会社との営業取引以外の取引高		
営業外収益	0	千円
営業外費用	9,771	千円

【株主資本等変動計算書に関する注記】

当該事業年度の末日における発行済株式の数	普通株式	14,000	株
----------------------	------	--------	---

【1株当たり情報に関する注記】

1. 1株当たりの純資産額 △ 31,486 円
2. 1株当たりの当期純損失 △ 5,653 円 4 銭